

Cluster WebUI ヘルプ

全般

[概要](#)

[ツールバー](#)

[タブ](#)

ダッシュボード

[概要](#)

[サマリボックス](#)

[アラートロググラフ](#)

[アラートログテーブル](#)

[グループ起動停止予測時間](#)

ステータス

[概要](#)

[クラスタ](#)

[サーバ](#)

[グループ](#)

[モニタ](#)

アラートログ

[概要](#)

[アラートログをサーバ別に表示する](#)

[フィルタ](#)

[テーブルのカスタマイズ](#)

[アラート表示](#)

ミラーディスク

[概要](#)

[アクション](#)

操作ログ

[概要](#)

[フィルタ](#)

[テーブルのカスタマイズ](#)

設定モード

[概要](#)

[編集エリア](#)

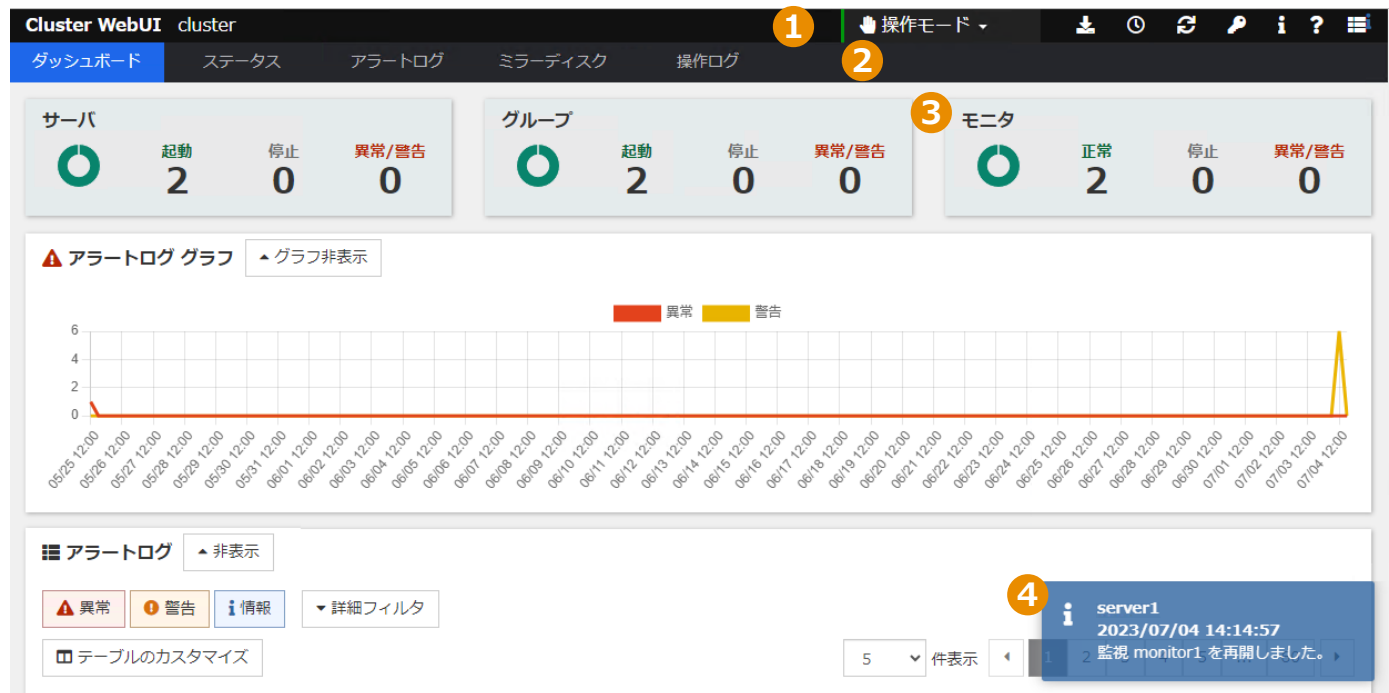
その他

[注意制限事項](#)

概要

Cluster WebUIではクラスタとそのサーバ、グループ、リソース、モニタリソースを管理することが可能です。

Cluster WebUIのメイン画面は以下の通りです。



1. ツールバー

管理対象となるクラスタがツールバーの左側に表示されています。

ツールバー右側には現在のモード及び様々なアクションボタンが表示されています。

詳細は[ツールバー](#)をご覧ください。

2. タブ

各ページ上部にあるタブを選択することで別ページに移動することが可能です。

選択中のタブは青色で表示されます。各ページに関する概要は[タブ](#)をご覧ください。

3. メイン

現在選択中のタブがメインエリアに表示されます。

4. ポップアップアラート通知

新規アラートは画面右下部に表示されます。一度に表示されるアラートは最大最新の3件で、

その他アラートはダッシュボードのアラートログテーブルまたはアラートログページで閲覧可能です。

ポップアップとして表示されるアラートは種類別にフィルタすることが可能です。

詳細は[ツールバー - アラートログフィルター](#)をご覧ください。

ツールバー



1. クラスタ名

管理対象となるクラスタ名です。

2. ユーザモード

現在選択中のユーザモードが表示されます。ユーザモードをクリックすることで別のモードへの切り替えメニューが表示されます。



選択可能なユーザモードは以下の通りです。

- **操作モード**
サーバやリソースの起動や停止など、管理と操作が可能です。
- **設定モード**
クラスタ構成の編集やインポート、エクスポート等が可能です。
詳細は、[設定モード](#)をご覧ください。
- **参照モード**
参照専用のモードとなるため参照のみ可能です。サーバやリソースの起動・停止操作は行えません。
- **検証モード**
操作モードと同様にステータスの確認や操作が可能です。加えて擬似障害を発生させて検証が可能です。

注意： クラスタのアカウント権限設定によってログインパスワードを求められたり、選択可能なモードが異なる場合があります。

3. クラスタログ収集

特定のサーバからログをダウンロードします。

クラスタログ収集 ボタンをクリックするとログ収集画面が表示されます。

左側のログ収集パターンを選択、右側から対象サーバを選択します。

実行 をクリックしログ収集を開始します。

↓ クラスタログ収集

クラスタログを収集するサーバとパターンを選択してください

パターン

パターン1 ▾

✓ デフォルト収集情報

✓ イベントログ

✓ Windows エラーレポート

✓ ユーザダンプ

✓ 診断プログラムレポート

✓ レジストリ

✓ スクリプト

✓ ESMPRO/AC、ESMPRO/UPSCのログ

HAログ

ミラー統計情報

クラスタ統計情報

✓ システム統計情報

サーバ

サーバリスト更新

✓ 全サーバ

server1

server2

実行

閉じる

4. 時刻情報

サーバがクラスタに復帰したときや、異常を検知したときなどの時刻情報を表示します。

クリア ボタンで時刻情報のクリア、**更新** ボタンで対象サーバより最新情報の入手が可能です。

時刻情報

サーバ

グループ

モニター

	server1	server2
最終異常検出		
monitor1	2018/02/13 09:10:49.364 (EST)	2018/02/13 09:10:51.579 (EST)
monitor2	-	-
monitor3	2018/02/13 09:25:52.879 (EST)	2018/02/13 09:24:06.544 (EST)
monitor4	-	-
monitor5	2018/02/13 09:09:44.043 (EST)	2018/02/13 09:09:48.548 (EST)
monitor6	-	-

5. 最新情報取得

サーバから最新情報を取得します。

6. ライセンス情報

クラスタのライセンス情報を表示します。

7. アプリケーション情報

Cluster WebUIのバージョン情報を表示します。

8. ヘルプ

Cluster WebUIオンラインヘルプを表示します。

9. アラートログフィルター

ポップアップ表示したいアラートをフィルタすることが可能です。

例：以下の画像の通り「異常」を選択している場合は「異常」アラートのみがポップアップとして表

示されるようになり、「情報」や「警告」は表示されなくなります。





1. ダッシュボード

Cluster WebUIのメイン画面です。サーバ、グループ、モニタの概要やアラートログ情報が表示されます。

詳細は[ダッシュボード](#)をご覧ください。

2. ステータス

グループ、リソース、モニタのステータスが表示されます。

操作モードや検証モードではサーバ、グループ、リソース、モニタの起動・停止が可能です。

検証モードでは擬似障害発生・解除が可能です。

詳細は[ステータス](#)をご覧ください。

3. アラートログ

指定した件数分のアラートログが表示されます。表示件数の上限は10,000件で、ソートやフィルタリングが可能です。

詳細は[アラートログ](#)をご覧ください。

4. ミラーディスク

クラスタ内のミラーディスクの一覧を表示します。

操作モードや検証モードではディスクコピーやアクセス制限の変更が可能です。

詳細は[ミラーディスク](#)をご覧ください。

5. 操作ログ

指定した件数分の操作ログが表示されます。表示件数の上限は10,000件で、ソートやフィルタリングが可能です。

詳細は[操作ログ](#)をご覧ください。

操作ログを表示する場合は、設定モードで[クラスタのプロパティ] - [WebManager]タブ - [Cluster WebUIの操作ログを出力する]の設定を有効にする必要があります。

ダッシュボード

概要

ダッシュボード画面ではサーバ、グループ、モニタの概要やアラートログ情報を表示します。



1. サマリボックス

サマリボックスではサーバやグループ、モニタの概要を表示します。
詳細は[サマリボックス](#)をご覧ください。

2. アラートロググラフ

アラートロググラフは一定期間で発生したログの異常の件数を表示します。
詳細は[アラートロググラフ](#)をご覧ください。

3. アラートログテーブル

最新300件のアラートログを表示します。
ログは種類、発生日時、サーバ名、モジュール名、イベントID、メッセージによりフィルタリングが可能です。
詳細は[アラートログテーブル](#)をご覧ください。

4. グループ起動停止予測時間

各グループの起動予測時間および停止予測時間を表示します。
詳細は[グループ起動停止予測時間](#)をご覧ください。

サマリボックス

クラスタ内のサーバ、グループ、モニタの概要を表示します。



1. 種類

アイテムの種類（サーバ、グループ、モニタ）やサマリを表示します。

2. ドーナツグラフ

サーバ、グループ、モニタの数を表示します。正常状態は緑、停止はグレー、異常・警告状態の場合は赤で表示します。

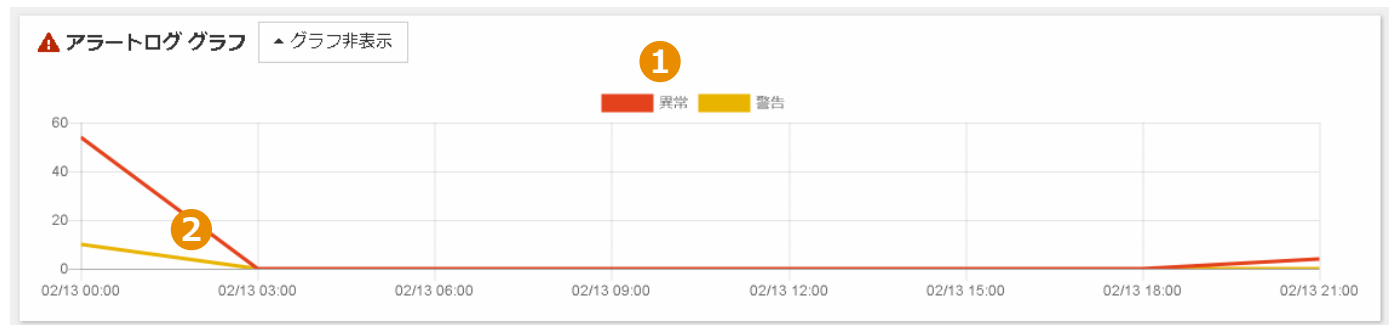
3. カウント

サーバ、グループ、モニタの数を、「起動（正常）」、「停止」または「異常／警告」の状態ごとに表示します。

アラートロググラフ

一定期間の異常や警告が表示されます。

種類にかかわらず、最新の300件から構成されています。

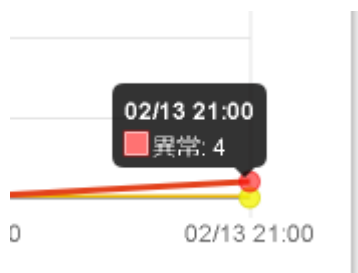


1. 表示アラートの選択

異常または警告をクリックすることでアラートログの表示・非表示の切り替えが可能です。

2. グラフ線

グラフ内の特定箇所をクリックすることで詳細が表示され、[アラートログテーブル](#)内部で該当ログを確認することが可能です。



アラートログテーブル

アラートログをテーブル形式で表示し、種類、発生日時、サーバ名、モジュール名、イベントID、メッセージでフィルタすることが可能です。

ダッシュボードのアラートログテーブルは[アラートログ](#)と機能が同じです。

ダッシュボードページで確認可能なアラートは最新の300件のみであるのに対し、アラートログページでは特定の期間を指定することが可能です。

アラートログ

非表示

異常

警告

情報

詳細フィルタ

テーブルのカスタマイズ

5 件表示

1 2 3 4 5 ... 60

種類	発生日時	サーバ名	モジュール名	イベントID	メッセージ
異常	2023/07/14 10:10:36.003	server1	apisv	4450	リソース(resource1)の開始要求が失敗しました (0x8000051)。
警告	2023/07/14 10:10:35.971	server1	rc	1452	グループリソース活性異常時の復旧動作が無効になっているため、リソースの復旧動作を抑制しました。
異常	2023/07/14 10:10:35.971	server1	rc	1132	リソース resource1 の単体起動に失敗しました。
異常	2023/07/14 10:10:35.940	server1	rc	1032	リソース resource1 の起動に失敗しました。(8 : 利用可能なアダプタが存在しません。)
情報	2023/07/14 10:10:34.299	server1	rc	1130	リソース resource1 を単体起動しています。

1. フィルタ

アラートログテーブルのフィルタの詳細は、[フィルタ](#)をご覧ください。

2. テーブルのカスタマイズ

アラートログテーブルのカスタマイズの詳細は、[テーブルのカスタマイズ](#)をご覧ください。

3. アラートログ

アラートログの詳細が表示されます。

モジュール名、イベントIDのリンクを選択すると、メッセージ一覧の該当箇所を表示します。

メッセージを選択すると、ログの詳細を表示します。詳細は、[アラート表示](#)をご覧ください。

4. 調査ログを取得

イベント発生日時に採取された調査用のログファイルをダウンロードします。

調査用のログファイルは、グループリソース、モニタリソース、強制停止リソースの異常時に採取されます。

グループ起動停止予測時間

サーバごとに、各グループの起動予測時間および停止予測時間の一覧を表示します。

1グループ起動停止予測時間

▲非表示

1

秒表示時間表示

3	server12		server2	
	起動予測時間	停止予測時間	起動予測時間	停止予測時間
failoverA	2秒	3分 21秒4	1秒	-
failoverB	2秒	1秒	-	-

1. 秒表示・時間表示

グループ起動停止予測時間の単位を秒表示・時間表示に切り替えることができます。

2. サーバ名

サーバのホスト名を表示します。

3. グループ名

グループ名を表示します。

4. グループ起動停止予測時間テーブル

構成されているサーバ台数分、各グループの起動予測時間及び停止予測時間を表示します。
そのサーバで対象グループを起動・停止したことがない場合に、ハイフンを表示します。

概要

クラスタ内のサーバ、グループ、リソース、モニタを表示します。

操作モード及び検証モードでは、サーバ、グループ、リソース、モニタの起動・停止が可能です。

検証モードでは、動作検証用の擬似障害を生成することも可能です。

① 注意 ▲

①

グループ自動起動が無効に設定されています。
グループリソースの活性異常検出時の復旧動作が無効に設定されています。
グループリソースの非活性異常検出時の復旧動作が無効に設定されています。
モニタリソースの異常検出時の回復動作が無効に設定されています。
サーバダウン時のフェイルオーバーが無効に設定されています。

② クラスタに警告があります。

②

▼ cluster ③

■ サーバ サーバグループリスト server1 server2

▼ サーバ

起動済
🔌 ↺ ⚙️
🔄 📦 ⬆️

■ グループ 排他ルールリスト ▼ フィルタ設定

▼ group1

停止済

異常

▼ group2

停止済

起動済

🔍 モニタ ⏸️ ▶️ ▼ フィルタ設定 ④

▼ monitor1

正常

正常

▼ monitor2

正常

一時停止

1. クラスタの注意事項

クラスタの注意事項が表示されます。注意事項がない場合は表示されません。

2. クラスタステータス

クラスタ全体の状態が表示されます。

3. クラスタ名

クラスタ名が表示されます。クラスタ名を選択することで再起動や詳細情報表示などのアクションリストが表示されます。

詳細は[クラスタ](#)をご覧ください。

4. ステータステーブル

サーバ、グループ、モニタの状態が表示されます。個別のグループやリソースに対し、開始や停止などのアクションを実行することもできます。

画面表示はブラウザのサイズにより自動調整されます。

また、構成されているサーバ台数が4台以上の場合、手動で表示するサーバを「ページ毎のサーバ数」より選択することが可能です。

サーバステータスとアクションに関する詳細は、[サーバ](#)をご覧ください。

グループステータスとアクションに関する詳細は、[グループ](#)をご覧ください。

モニタステータスとアクションに関する詳細は、[モニタ](#)をご覧ください。

クラスタ



1. クラスタ名

クラスタ名をクリックすることでクラスタアクションの表示・非表示が切り替ります。

2. クラスタアクション

クラスタシャットダウン

クラスタ配下の全サーバをシャットダウンします。

クラスタリブート

クラスタ配下の全サーバを再起動します。

クラスタサスペンド

クラスタサービスをサスペンドし、休止状態にします。

クラスタリジューム

クラスタサービスをリジュームし、休止状態より復帰します。

クラスタ開始

クラスタサービスを起動します。

クラスタ停止

クラスタサービスを停止します。

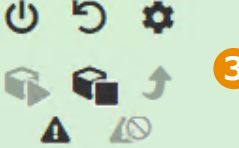
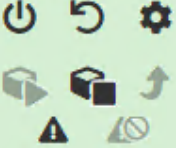
WebManagerサービス再起動

WebManager サービスを再起動します。

クラスタ詳細情報

クラスタの詳細情報を表示します。

サーバ

サーバ	サーバグループリスト ①	server1	server2
▲ サーバ ②		起動済  ③	起動済 
▲ lankhb1 ④		正常 ⑤   ⑥	正常  
▼ lankhb2		正常	正常

1. サーバグループリスト

クリックによりサーバグループリストの一覧を別画面にて表示します。

2. サーバ

クリックによりサーバアクションとリソースを表示・非表示します。

3. サーバアクション

 サーバシャットダウン

サーバをシャットダウンします。

 サーバリブート

サーバを再起動します。

 サーバ詳細情報

サーバ詳細設定を表示します。

 サーバサービス開始

サーバサービスを開始します。

 サーバサービス停止

サーバサービスを停止します。

 サーバ復帰

サーバを異常停止状態から復帰します。

 擬似障害発生（検証モードのみ）

サーバの擬似障害を発生します。

 擬似障害解除（検証モードのみ）

サーバの擬似障害を解除します。

4. リソース名

クリックにより、リソース詳細情報とリソースステータスを表示・非表示します。

5. リソース詳細情報

ハートビートリソース・NP解決リソースの詳細情報を表示します。

6. リソースステータス

各サーバでの、ハートビートリソース・NP解決リソースのステータスを表示します。

グループ

■ グループ

排除ルールリスト 1

▲ フィルタ設定 2

タイプ

フローティングIP x

リソース

resource1 x resource2 x

▲ group1 ⚙ 3	起動済 ■ ▶ ⇨ 4	停止済 ■ ▶ ⇨
▲ resource1 ⚙ 5	起動済 ■ ▶ 6	停止済 ■ ▶
▼ resource2	起動済	停止済

1. 排除ルールリスト

クリックにより、排除ルール、属性、及びグループの一覧を表示します。

2. フィルタ設定

クリックによりフィルタ部分（タイプ、リソース）の表示・非表示を切り替えることが可能です。
タイプおよびリソースの各項目を選択することにより、グループリソースの表示をフィルタリングすることができます。

3. グループ

グループ名をクリックすることでグループアクションとグループリソースを表示・非表示します。

⚙ グループ詳細情報

グループの詳細情報を表示します。

4. グループアクション

■ グループ停止

グループを停止します。

▶ グループ起動

グループを起動します。

⇨ グループ移動

サーバ間でグループを移動します。

5. グループリソース

各グループリソース名のクリックにより、グループリソースアクションを表示・非表示します。

⚙ グループリソース詳細情報

グループリソースの詳細情報を表示します。

6. グループリソースアクション

■ リソース停止

リソースを停止します。

▶ リソース起動

リソースを起動します。

ステータス モニタ



1. 全モニタアクション

アクションボタンのクリックにより、別画面にてサーバー一覧が表示されます。当該の画面上にてアクションを適用するサーバを任意に選択し実行します。

|| 監視一時停止

選択したサーバで全てのモニタをサスペンド(休止状態)します。

||> 監視再開 (全てのモニタ)

選択したサーバで全てのモニタをサスペンド状態よりリジューム(復帰)します。

⚠ 擬似障害解除 (検証モードのみ)

選択したサーバの全ての擬似障害を解除します。

2. フィルタ設定

クリックによりフィルタ部分(タイプ、リソース)の表示・非表示を切り替えることが可能です。タイプおよびリソースの各項目を選択することにより、モニタリソースの表示をフィルタリングすることができます。

3. モニタ

各モニタ名のクリックにより、モニタアクションを表示・非表示します。

|| モニター一時停止

選択したサーバでモニタ監視を一時停止します。

||> モニタ再開

選択したサーバでモニタ監視を再開します。

⚠ 擬似障害発生 (検証モードのみ)

選択したサーバでモニタの擬似障害を発生します。

⚠ 擬似障害解除 (検証モードのみ)

選択したサーバでモニタの擬似障害を解除します。

⚙ モニタ詳細情報

モニタの詳細情報を表示します。

4. モニタアクション

|| モニター一時停止

モニタ監視を一時停止します。

▶ モニタ再開

モニタ監視を再開します。

⚠ 擬似障害発生（検証モードのみ）

該当サーバのモニタの擬似障害を発生します。

🔇 擬似障害解除（検証モードのみ）

該当サーバのモニタの擬似障害を解除します。

概要

アラートログをテーブル形式で表示し、種類、発生日時、サーバ名、モジュール名、イベントID、メッセージでフィルタすることが可能です。

アラートログは任意の件数を指定して取得することが可能です。

例として1000と入力した場合は最新のログ1,000件を収集しログテーブル上に表示します。

収集可能なアラートログの最大件数は10,000件です。

The screenshot shows the 'Alert Log' interface. At the top, there's a checkbox 'アラートログをサーバ別に表示する' (1) and a search bar 'アラートログ件数' with '1000' entered and buttons '取得' and 'クリア'. Below this is the 'アラートログ' section. It has tabs for '異常' (red triangle), '警告' (yellow circle), and '情報' (blue circle), with '詳細フィルタ' (3) next to them. There's a 'テーブルのカスタマイズ' (4) button. On the right, there's a 'CSVダウンロード' (2) button and a pagination control showing '5' items per page and a range from 1 to 200. The main table has columns: '種類', '発生日時', 'サーバ名', 'モジュール名', 'イベントID', and 'メッセージ'. The table contains five rows of data. A callout (5) points to the 'モジュール名' column. A callout (6) points to the '種類' column.

種類	発生日時	サーバ名	モジュール名	イベントID	メッセージ
異常	2026/07/14 10:10:36.003	server1	apisv	4450	リソース(resource1)の開始要求が失敗しました (0x8000051)。
警告	2026/07/14 10:10:35.971	server1	rc	1452	グループリソース活性異常時の復旧動作が無効になっているため、リソースの復旧動作を抑制しました。
異常	2026/07/14 10:10:35.971	server1	rc	1132	リソース resource1 の単体起動に失敗しました。
異常	2026/07/14 10:10:35.940	server1	rc	1032	リソース resource1 の起動に失敗しました。(8 : 利用可能なアダプタが存在しません。)
情報	2026/07/14 10:10:34.299	server1	rc	1130	リソース resource1 を単体起動しています。

1. アラートログをサーバ別に表示する

アラートログメッセージをサーバごとに別けて表示することが可能です。

ダッシュボードのアラートログテーブルでは本機能は使用できません。

詳細は、[アラートログをサーバ別に表示する](#)をご覧ください。

2. CSV ダウンロード

アラートログテーブルに表示している情報を CSV 形式でダウンロードすることが可能です。

なお、フィルタ設定とテーブルカスタマイズは CSV の内容に反映されません。

○ CSV ファイルの保存先

ご利用のブラウザで指定されているダウンロードフォルダに保存されます。

○ ファイル名

alertlog.csv になります。

アラートログをサーバ別に表示している場合は、ファイル名が alertlog-by-server.csv になります。

3. フィルタ

フィルタ機能を使うことで種類、発生日時、サーバ名、モジュール名、イベントID、メッセージでフィルタすることが可能です。

アラートログをサーバ別に表示している場合は、本機能は使用できません。

詳細は、[フィルタ](#)をご覧ください。

4. テーブルのカスタマイズ

アラートログテーブル項目の表示・非表示の切り替えが可能です。

詳細は、[テーブルのカスタマイズ](#)をご覧ください。

5. アラートログ

任意のモジュール名、イベントIDを選択すると、メッセージ一覧の該当箇所に遷移することが可能です。

任意のメッセージを選択すると、ログの詳細を表示することが可能です。詳細は、[アラート表示](#)をご覧ください。

6. 調査ログを取得

イベント発生日時に採取された調査用のログファイルをダウンロードします。

調査用のログファイルは、グループリソース、モニタリソース、強制停止リソースの異常時に採取されます。

アラートログをサーバ別に表示している場合は、本機能は使用できません。

アラートログ

アラートログをサーバ別に表示する

サーバごとにメッセージが別れたアラートログを表示します。

アラートログをサーバ別に表示する ☒ 1

アラートログ件数 1000

アラートログ

CSVダウンロード

10 件表示 1 2 3 4 5 ... 100

種類	発生日時	モジュール名	イベントID	server1 補正 0 (ms)	server2 補正 0 (ms)
⚠	2026/01/08 13:15:35.381	rc	1032		リソース resource1 の起動に失敗しました。(2: 指定された...
i	2026/01/08 13:15:35.302	rc	1010		グループ failover を起動しています。
i	2026/01/08 13:15:35.249	rc	1021	グループ failover の停止が完了しました。	
i	2026/01/08 13:15:34.374	rc	1020	グループ failover を停止しています。	
i	2026/01/08 13:15:34.241	rc	1060		グループ failover をフェイルオーバーしています。
⚠	2026/01/08 13:15:34.120	apisv	4450	リソース(resource1)の開始要求が失敗しました (0x800005...	
i	2026/01/08 13:15:34.104	rc	1201	リソース resource1 の起動失敗によりグループ failover をサ...	
⚠	2026/01/08 13:15:34.089	rc	1132	リソース resource1 の単体起動に失敗しました。	
⚠	2026/01/08 13:15:33.964	rc	1032	リソース resource1 の起動に失敗しました。(2: 指定された...	
i	2026/01/08 13:15:33.901	rc	1130	リソース resource1 を単体起動しています。	

1. アラートログをサーバ別に表示する

アラートログをサーバ別に表示する場合は、チェックを入れて取得ボタンを押下します。
アラートログをサーバ別に表示しない場合は、チェックを外して取得ボタンを押下します。

2. 時刻補正

アラートログをサーバ別に表示している場合のみ、各サーバの発生日時の時刻を補正することが可能です。

単位はミリ秒で指定します。-2147483648～2147483647 の範囲内で指定してください。

補正值を入力して取得ボタンを押下します。アラートログが補正後の発生日時で再表示されます。

3. アラートログ（サーバ別表示）

アラートログメッセージをサーバごとに別けて表示します。

任意のモジュール名、イベントIDを選択すると、メッセージ一覧の該当箇所に遷移することが可能です。

任意のメッセージを選択すると、ログの詳細を表示することが可能です。詳細は、[アラート表示](#)をご覧ください。

アラートログ フィルタ

フィルタ部分ではログ表示を種類、発生日時、サーバ名、モジュール名、イベントID、メッセージでフィルタすることが可能です。

The screenshot shows the 'Alert Log Filter' interface. At the top, there are three buttons for log types: '異常' (Abnormal) with a red triangle icon, '警告' (Warning) with an orange circle icon, and '情報' (Information) with a blue 'i' icon. To the right of these is a button labeled '詳細フィルタ' (Detailed Filter) with a downward arrow icon. Below these buttons are several input fields. The first row contains '発生日時' (Occurrence Date/Time) followed by a date range selector with '~' and two date boxes. The second row contains 'サーバ名' (Server Name), 'モジュール名' (Module Name), 'イベントID' (Event ID), and 'メッセージ' (Message). Numbered callouts are placed as follows: 1 above the log type buttons, 2 above the '詳細フィルタ' button, 3 above the right date box in the date range selector, 4 above the 'サーバ名' field, 5 above the 'モジュール名' field, 6 above the 'イベントID' field, and 7 above the 'メッセージ' field.

1. ログ種類フィルタ

ログの種類（異常、警告、情報）を選択し、該当ログの表示・非表示を切り替えることが可能です。

2. 詳細フィルタ

クリックによりフィルタ部分（発生日時、サーバ名、モジュール名、イベントID、メッセージ）の表示・非表示を切り替えることが可能です。

3. 発生日時フィルタ

左側のボックスに開始日、右側のボックスに終了日をそれぞれ入力することで、アラートログの表示期間を指定できます。

開始日のみを入力した場合、指定した開始日から現在までのログを表示します。

終了日のみを入力した場合、その時点で存在する最も古いログから指定した終了日までのログを表示します。

4. サーバ名フィルタ

サーバ名を対象に、入力した内容で部分一致検索を行います。

5. モジュール名フィルタ

モジュール名を対象に、入力した内容で部分一致検索を行います。

6. イベントIDフィルタ

イベントIDを対象に、入力した内容で部分一致検索を行います。

7. メッセージフィルタ

メッセージを対象に、入力した内容で部分一致検索を行います。

テーブルのカスタマイズ

アラートログテーブルの項目の表示・非表示を設定することが可能です。

☐ テーブルのカスタマイズ

✕

表示項目

☒ 種類

☐ 受信日時

☒ 発生日時

☒ サーバ名

☒ モジュール名

☐ イベントID

☒ メッセージ

閉じる

アラートログをサーバ別に表示している場合の表示項目は以下のようになります。

☐ テーブルのカスタマイズ

✕

表示項目

☒ 種類

☒ 発生日時

☒ モジュール名

☒ イベントID

☒ server1

☒ server2

閉じる

項目をクリックすることで表示・非表示が選択可能です。

テーブルのカスタマイズは保存され、次回アラートログを表示する際にも引き継がれます。

アラート表示

[アラートログ](#)内部のメッセージを選択することでログ詳細を表示します。

アラートログ

種類

受信日時

発生日時

サーバ名

モジュール名

イベントID

メッセージ

▲ 異常

2023/07/14 15:25:41.657

2023/07/14 15:25:41.188

server1

rc

1032

リソース resource1 の起動に失敗しました。(8：利用可能なアダプタが存在しません。)

↑ 次

↓ 前

2 調査ログを取得

閉じる

1. 次・前 ボタン

次ボタンでテーブル内に存在するひとつ新しいログ、**前**ボタンでひとつ古いログをそれぞれ表示します。

キーボードの ↑ ↓ キーでも**次・前**ボタンと同様の操作が行えます。

2. 調査ログを取得

イベント発生日時に採取された調査用のログファイルをダウンロードします。

調査用のログファイルは、グループリソース、モニタリソース、強制停止リソースの異常時に採取されます。

アラートログをサーバ別に表示している場合は、本機能は使用できません。

概要

ミラーディスクリストではクラスタ内のミラーディスクの一覧を表示します。

操作モードや検証モードではフルコピーや差分コピー、強制ミラー復帰などのアクションが実行可能です。

1 ミラーディスクリスト			2			3		
ミラーディスク名	同期モード	差分コピー	サーバ名	アクティブ	ステータス	サーバ名	アクティブ	ステータス
▼ md1	同期	--	server1	非活性状態	正常	server2	非活性状態	正常
▼ md2	同期	--	server1	非活性状態	正常	server2	非活性状態	正常

1. ミラーディスク情報

ミラーディスクの詳細です。

○ ミラーディスク名

ミラーディスクの名称です。ミラーディスク名を選択することでアクションボタンが表示され、アクションを実施することが可能です。

詳細は、[アクション](#)をご覧ください。

○ 同期モード

ミラーディスクに設定されている同期モードを表示します。

○ 差分コピー

ミラーディスクに対して差分コピーが実行可能かを表示します。

2. サーバ情報（1台目）

サーバ1のミラーディスクステータスを表示します。

○ サーバ名

サーバのホスト名です。

○ アクティブ

サーバのアクティブステータスを表示します。

○ ステータス

ミラー化されたディスクのステータスを表示します。

3. サーバ情報（2台目）

サーバ2のミラーディスクステータスを表示します。

ミラーディスク アクション

ミラーディスク名を選択することで、実行可能なアクションの表示・非表示を切り替えます。
操作モードと検証モード以外ではミラーディスク詳細情報の閲覧のみ可能です。

ミラーディスクリスト

ミラーディスク名▲ 同期モード		差分コピー	サーバ名	アクティブ	ステータス	進捗状況	サーバ名	アクティブ	ステータス		
▲ md1	同期	可能	server1	     	2	活性状態	ミラー再構築中	server2	     	非活性状態	ミラー再構築中
▲ md2	同期	--	server1	     		活性状態	正常	server2	     	非活性状態	正常

1. ミラーディスク詳細情報

⚙️ 詳細情報

ミラーディスクの詳細情報を表示します。

2. ミラーディスクアクション

アクションボタンの上に表示されているサーバに対し、選択したアクションを実行します。
コピー操作の場合、選択したサーバがコピー元となります。

🔄 強制ミラー復帰

該当サーバのミラーディスクのデータを最新とします。

📄 差分コピー

差分コピーを実施します。

📄 フルコピー

フルコピーを実施します。

🔪 ミラーブレイク

ミラーブレイクを実施します。

🔒 アクセス制限

該当サーバのミラーディスクに対してアクセス制限をかけます。

🔓 アクセス制限解除

該当サーバのミラーディスクに対するアクセス制限を解除します。

■ 中止

ディスクコピーを中断します。

概要

操作ログをテーブル形式で表示し、日時、操作、IPアドレス、ユーザ名、ステータス、エラーコード、ターゲットでフィルタすることが可能です。

操作ログは任意の件数を指定して取得することが可能です。

操作ログ件数

取得

例として1000と入力した場合は最新のログ1,000件を収集しログテーブル上に表示します。
収集可能な操作ログの最大件数は10,000件です。

操作ログ

3 CSVダウンロード

▼ フィルタ設定

1

☐ テーブルのカスタマイズ

2

5 件表示 ◀ 1 2 3 4 5 ... 124 ▶

日時	操作	IPアドレス	ユーザ名	ステータス	エラーコード	処理時間	ターゲット
2026/01/08 09:39:41.341	Get License Info	10.0.0.1	user	200	0	47	
2026/01/08 09:39:40.826	Cluster properties	10.0.0.1	user	200	0	62	
2026/01/08 09:39:40.607	Get configuration	10.0.0.1	user	200	0	47	
2026/01/08 09:39:26.731	Restart WebManager service	10.0.0.1	user	200	0	16	
2026/01/08 09:39:26.716	Restart API service	10.0.0.1	user	200	0	453	

1. フィルタ

フィルタ機能を使うことで日時、操作、IPアドレス、ユーザ名、ステータス、エラーコード、ターゲットでフィルタすることが可能です。

詳細は、[フィルタ](#)をご覧ください。

2. テーブルのカスタマイズ

操作ログテーブル項目の表示・非表示の切り替えが可能です。

詳細は、[テーブルのカスタマイズ](#)をご覧ください。

3. CSV ダウンロード

操作ログテーブルに表示している情報を CSV 形式でダウンロードすることが可能です。

なお、フィルタ設定とテーブルカスタマイズは CSV の内容に反映されません。

○ CSV ファイルの保存先

ご利用のブラウザで指定されているダウンロードフォルダに保存されます。

○ ファイル名

operationlog.csv になります。

フィルタ

フィルタ部分ではログ表示を日時、操作、IPアドレス、ユーザ名、ステータス、エラーコード、ターゲットでフィルタすることが可能です。

The image shows a filter interface with the following elements:

- 1**: A button labeled "▲フィルタ設定" (Filter Settings).
- 2**: A date range selector with two input boxes separated by a tilde (~), labeled "日時" (Date/Time).
- 3**: An input box for the "操作" (Operation).
- 4**: An input box for the "IPアドレス" (IP Address).
- 5**: An input box for the "ユーザ名" (User Name).
- 6**: An input box for the "ステータス" (Status).
- 7**: An input box for the "エラーコード" (Error Code).
- 8**: An input box for the "ターゲット" (Target).

1. フィルタ設定

クリックによりフィルタ部分（日時、操作、IPアドレス、ユーザ名、ステータス、エラーコード、ターゲット）の表示・非表示を切り替えることが可能です。

2. 日時フィルタ

左側のボックスに開始日、右側のボックスに終了日をそれぞれ入力することで、操作ログの表示期間を指定できます。

開始日のみを入力した場合、指定した開始日から現在までのログを表示します。

終了日のみを入力した場合、その時点で存在する最も古いログから指定した終了日までのログを表示します。

3. 操作フィルタ

操作を対象に、入力した内容で部分一致検索を行います。

4. IPアドレスフィルタ

IPアドレスを対象に、入力した内容で部分一致検索を行います。

5. ユーザ名フィルタ

ユーザ名を対象に、入力した内容で部分一致検索を行います。

6. ステータスフィルタ

ステータスを対象に、入力した内容で部分一致検索を行います。

7. エラーコードフィルタ

エラーコードを対象に、入力した内容で部分一致検索を行います。

8. ターゲットフィルタ

ターゲットを対象に、入力した内容で部分一致検索を行います。

テーブルのカスタマイズ

操作ログテーブルの項目の表示・非表示を設定することが可能です。

☐ テーブルのカスタマイズ

表示項目

☒ 日時

☒ 操作

☒ IPアドレス

☒ ユーザ名

☒ ステータス

☒ エラーコード

☒ 処理時間

☒ ターゲット

閉じる

項目をクリックすることで表示・非表示が選択可能です。

テーブルのカスタマイズは保存され、次回操作ログを表示する際にも引き継がれます。

概要

設定モードでは、クラスタ構成の編集、インポート、エクスポート等が可能です。



1. クラスタ生成ウィザード

ウィザード形式でクラスタの新規作成を行えます。

2. 設定のインポート

ローカルフォルダからクラスタの設定ファイルのインポートが行えます。

旧バージョンで保存したクラスタ構成情報やclpcfctrlコマンドでバックアップしたクラスタ構成情報をインポートする場合、事前にzip形式で圧縮しておく必要があります。

zipファイルを展開するとclp.confファイルとscriptsディレクトリが解凍されるよう配置してください。

3. 設定のエクスポート

ローカルフォルダにクラスタの設定ファイルのエクスポートが行えます。

エクスポートしたクラスタ構成情報をclpcfctrlコマンドの -xオプションに指定する場合、事前に解凍しておく必要があります。

4. 設定の取得

サーバからクラスタの設定を取得できます。

5. 設定の反映

サーバに編集したクラスタの設定を反映できます。

6. サーバ情報の更新

クラスタを構成する各サーバの情報を更新できます。

7. クラスタ構成情報チェック

設定モードで構築したクラスタの構成情報をチェックすることができます。

注意： ブラウザ側の設定によりポップアップウィンドウの表示がブロックされクラスタ構成情報チェック結果が表示されない場合があります。

詳細は、[注意制限事項 - クラスタ構成情報チェックの結果表示について](#)をご覧ください。

編集エリア

編集エリアでクラスタの構成が編集できます。



1. クラスタ

プロパティ編集

クラスタプロパティの編集を行えます。

その他

クリックすることでメニューが表示されます。

クラスタの名称変更

クラスタ名称の変更を行えます。

クラスタの削除

クラスタの削除を行えます。

2. サーバ

プロパティ編集

サーバ共通のプロパティの編集を行えます。

追加

サーバの追加を行えます。

3. 各サーバ

プロパティ編集

サーバプロパティの編集を行えます。

その他

クリックすることでメニューが表示されます。

サーバの名称変更

サーバ名称の変更を行えます。

サーバの削除

サーバの削除を行えます。

4. グループ

プロパティ編集

グループ共通のプロパティの編集を行えます。

追加

グループの追加を行えます。

5. 各グループ

プロパティ編集

グループプロパティの編集を行えます。

追加

グループリソースの追加を行えます。

その他

クリックすることでメニューが表示されます。

グループの名称変更

グループ名称の変更を行えます。

グループの複製

グループの複製を行えます。

グループの削除

グループの削除を行えます。

6. グループリソース

プロパティ編集

グループリソースプロパティの編集を行えます。

その他

クリックすることでメニューが表示されます。

グループリソースの名称変更

グループリソース名称の変更を行えます。

グループリソースの複製

グループリソースの複製を行えます。

他のグループへの複製はできません。

グループリソースの移動

グループリソースのグループ間移動を行えます。

グループリソースの削除

グループリソースの削除を行えます。

7. モニタ

プロパティ編集

モニタプロパティの編集を行えます。

追加

モニタリソースの追加を行えます。

8. モニタリソース

プロパティ編集

モニタリソースプロパティの編集を行います。

その他

クリックすることでメニューが表示されます。

モニタリソースの名称変更

モニタリソース名称の変更を行います。

モニタリソースの複製

モニタリソースの複製を行います。

モニタリソースの削除

モニタリソースの削除を行います。

注意制限事項

1. 状態表示について

- (1)Cluster WebUIで表示される内容は必ずしも最新の状態を示しているわけではありません。
最新の情報を取得したい場合、[最新情報を取得]を選択して最新の情報を取得してください。
- (2)Cluster WebUIが情報を取得中にサーバダウン等発生すると、情報の取得に失敗し、一部オブジェクトが正しく表示できない場合があります。
次の自動更新まで待つか、[最新情報を取得]を選択して最新の情報を再取得してください。
- (3)[クラスタのプロパティ] - [WebManager]タブ - [調整]ボタン - [WebManager調整プロパティ]ダイアログボックスから、[画面データ更新インターバル]および[時刻情報表示機能を使用する]を変更した場合、設定の反映後にCluster WebUIを再起動してください。

2. ログ収集の同時実行について

ログ収集は複数のCluster WebUIから同時に実行することはできません。

3. クラスタ構成情報チェックの同時実行について

クラスタ構成情報チェックは複数のCluster WebUIから同時に実行することはできません。

4. クラスタ構成情報チェックの結果表示について

ブラウザのポップアップブロックの設定から、Cluster WebUIの接続先を登録してポップアップブロックを解除してください。

5. アラートログのメッセージ一覧の表示について

ブラウザの表示サイズが小さい場合、メッセージ一覧の表全体が表示されないことがあります。